

まちづくり交付金 事後評価シート
第Ⅱ期中央地区

平成28年2月

愛媛県西条市

様式2-1 評価結果のまとめ

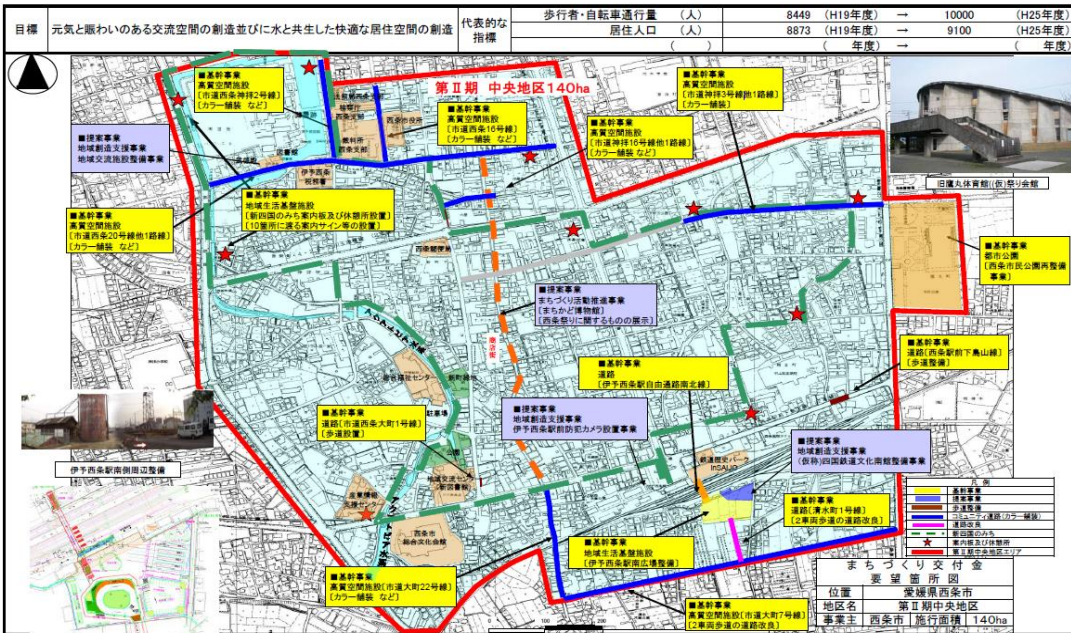
都道府県名	愛媛県		市町村名	西条市		地区名	第Ⅱ期中央地区			面積	140ha		
交付期間	平成21年度～25年度		事後評価実施時期	平成28年3月		交付対象事業費	2,500	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	市道改良事業(4路線)、地域生活基盤施設(広場、情報板)、高質空間形成施設(緑化施設等)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	(仮称)祭り会館			施設の老朽化が著しく、改修費用のコストがかさむことが判明したため。			影響なし			
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	西条市民公園再整備事業、市道神拝16号線他2路線			公園:地域の拠点として整備が必要であるため追加 高質空間形成施設:回遊性の確保や将来交通量を考慮して追加			影響なし			
提案事業			四国鉄道文化館整備事業、地域交流整備事業、伊予西条駅前防犯カメラ設置事業			施設:地域の拠点として整備が必要であるため追加 防犯:市民が安全安心に回遊できる必要があるため追加			影響なし				
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者・自転車通行量(休日)	人/日	8,449	19	10,000	25	モニタリング	5,734	×	あり なし ●		平成28年4月
	指標2	居住人口	人	8,873	19	9,100	25	—	8,877	△	あり なし ●		平成28年4月
	指標3							—			あり なし		
	指標4							—			あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	伊予西条駅の乗降客数	人/日	3,022	19	/		—	3,160	/	/	伊予西条駅自由通路南北線の完成により、駅の利用客が増加した。	
	その他の数値指標2					/				/	/		
	その他の数値指標3					/				/	/		
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		「西条市中心市街地活性化協議会」を中心とするまちづくりに関する会合			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 必要性が生じた場合、今後も意見を聴取し、まちづくりの参考とする。		
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

第Ⅱ期中央地区(愛媛県西条市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:元気と賑わいのある交流空間の創造並びに水と共生した快適な居住空間の創造	歩行者・自転車通行量(休日)	8,449 H19	10,000 H25	5,734 H25
目標1 賑わいと回遊性の向上を図る。	居住人口	8,873 H19	9,100 H25	8,877 H25
目標2 まちなか居住の推進を図る。				

第Ⅱ期中央地区(愛媛県西条市) 整備方針概要図



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 新しい拠点施設の集積による集客力の増加と連携した、既存商店街・飲食店街などの民間商業活動の活性化を図る。 新しい拠点間を結ぶインフラ整備と連携して、回遊空間を利用した民間商業活動の活性化を図る。 アクアトピアやうちぬきをめぐる新四国の道などの観光ルートとの連携を図る。 観光交流センター前広場や駅舎前広場などを利用した定期的なイベントを開催し、駅周辺の更なる充実を図る。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい拠点施設の集積による集客力の増加と連携した、既存商店街・飲食店街などの民間商業活動の活性化を図る。 アクアトピアやうちぬきなどをめぐる新四国の道などの観光ルートとの連携を図り、「西条まつり」「うちぬき」「石鎚山」などの観光資源を利用した活性化を図る。 まちづくり会社や観光協会を中心として新たなイベントを模索し活性化を図る。 商店街の空き店舗数の減少のため、チャレンジショップなどが気軽に営業できるような店主と商店街が一体となった体制が必要。